

都市再生整備計画(第2回変更)

みやづしはままち しんはま ちく
宮津市浜町・新浜地区

きょうとふ みやづし
京都府 宮津市

平成27年9月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	京都府	市町村名	宮津市	地区名	宮津市浜町・新浜地区	面積	15.6 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標

- 大目標『丹後の観光拠点～宮津マルシェ～』
- 目標1：丹後観光の玄関口の形成
- 目標2：まちなか観光の起点の構築
- 目標3：宮津・丹後の食と物販を通じた賑わい拠点の強化

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本区域は、中世以降、城下町、港町として栄え、特に江戸期には北前船による物資の集散地として、宮津節に「縞の財布を空にした」と謳われるほどのにぎわいを見せていた。しかし、近代以降、陸上交通が発達する中で、港町のポテンシャルが低下し、その面影は少なくなってきたが、高速道路の整備や鉄道の電化等の利便性向上とも相俟って、観光交流都市の拠点として、将来への発展が期待されている。観光動態は、「日帰り・通過型」が中心となっており、観光地としては、未整備の状態にある中心市街地の「まちなか観光化」を促進して、宮津市全体を滞在型の観光地にしていくことが大きな課題となっていました。
- ・このような中、平成20年度に地域の活性化を産業振興につなげるまちづくりについてまとめた「宮津まちなか観光推進プラン」が策定され、観光推進の施策として、まちなか集客のスポット整備などの戦略が示され、継続的に取り組んでいます。
- ・また、みやづビジョン2011（総合計画）において、重点的に取り組むべき施策「宮津マルシェアクションプラン」に位置付け、市としても重点的にまちづくりに取り組んでいます。
- ・平成23年度からは、街なみ環境整備事業による、まちなか観光の歩行者ネットワークによる回遊性の強化も行っており、その拠点を整備することでさらに回遊性が強化されることや観光推進につながっていくことが考えられます。

- 平成21年度 宮津まちなか観光推進プラン … まちなかの観光推進施策
新浜・魚屋地区景観まちづくり計画 … 新浜地区の基本構想
- 平成22年度 宮津市浜町地区商業活性化提案 … 浜町地区の基本構想
- 平成23年度 観光販売調査 … 整備予定施設のあり方を検討
街なみ環境整備事業

課題

- ・まちなかの商業活動は低下し続けており、にぎわいの喪失、まちの魅力の低下が顕著になってきている。
- ・一方で、歴史資産や食の資源など、豊富な資源があり、また、交通結節点というようなポテンシャルを有していることから、これらを有効に生かしたまちづくりが必要である。
- ・平成26年度の京都縦貫自動車道の全線開通を起爆剤にして、新たな魅力づくりを官民一体となって作り上げ、まちの活性化を目指す必要がある。

将来ビジョン（中長期）

■みやづビジョン2011（総合計画）

◎観光を基軸とした産業振興

本市の魅力あふれる地域資源を最大限に生かし、滞在型観光への転換とともに観光を基軸にした産業の連携を進めることとしています。

◎「宮津マルシェアクションプログラム」

みやづビジョン2011では、特に重点的に取り組むべき施策については、アクションプログラムを策定の上、集中的に推進することとしており、本事業も宮津マルシェアクションプログラムとして位置づけられています。

■宮津市都市計画マスタープラン

◎宮津地区のまちづくりの基本的な考え方

丹後地域の広域的な拠点地区としての機能の強化を目指しています。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
観光入込客数	人/年	年間観光客数	観光交流拠点の整備により、観光客数の1割増加を目指す。	273万人/年	平成23年度	300万人/年	平成28年度
区域内への交通量	台/年	パーキングはままの年間駐車台数(全体)	まちなかの活性化を推進することにより、都市再生整備区域の中心に位置する当該駐車場の利用者の倍増を目指す。	130,943台/年	平成23年度	150,000台/年	平成28年度
イベント回数	回/年	都市再生整備区域内で行われる賑わいづくりのイベント回数	都市再生整備区域内のイベント回数を増やすことで、まちなかの活性化を目指す。	6回/年	平成23年度	10回/年	平成28年度

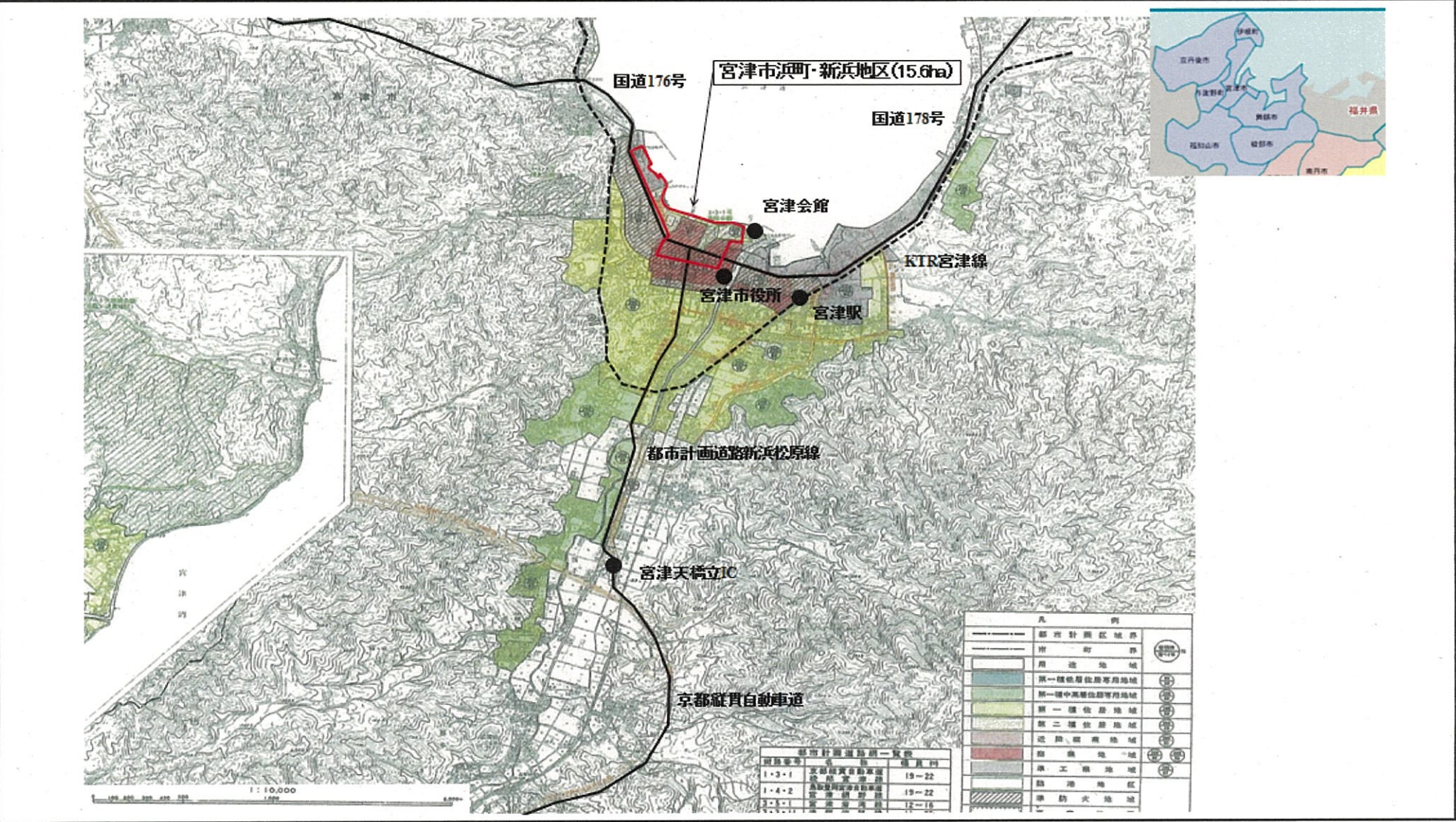
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	
●丹後観光の玄関口の形成 ●まちなか観光の起点の構築 ・観光交流拠点の整備	方針に合致する主要な事業 観光交流センター整備(基幹事業/高次都市施設) 観光交流センター整備(提案事業)
●まちなか観光の起点の構築(再掲) ●宮津・丹後の食と物販を通じた賑わい拠点の強化 ・丹後観光やまちなか観光へ誘導するためのまちづくり	社会実験(提案事業) 集客イベント(提案事業) 町屋改修(提案事業) 宮津まちづくり会議活動支援(提案事業)
その他	
●事業終了後の持続的なまちづくり活動 ・宮津まちづくり会議を設置し、市・商工会議所・観光協会・農水産物生産者・交通事業者・金融機関等で連携して持続的に取り組んでいく。	
●交付期間中の計画の管理について ・交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、事業の内容や進捗状況を広報誌やホームページにより広く住民に周知する。	

[illegible]

都市再生整備計画の区域

宮津市浜町・新浜地区(京都府宮津市)	面積	15.6 ha	区域	宮津市字浜町の全部と字新浜、字魚屋、字島崎
--------------------	----	---------	----	-----------------------



宮津市浜町・新浜地区(京都府宮津市) 整備方針概要図

目標	目標1: 丹後観光の玄関口の形成	代表的な指標	観光入込客数(万人/年)	273 (H23年度) → 300 (H28年度)
	目標2: まちなか観光の起点の構築		区域内への交通量(台/年)	130,943 (H23年度) → 150,000 (H28年度)
	目標3: 宮津・丹後の食と物販を通じた賑わい拠点の強化		イベント回数(回/年)	6 (H23年度) → 10 (H28年度)

